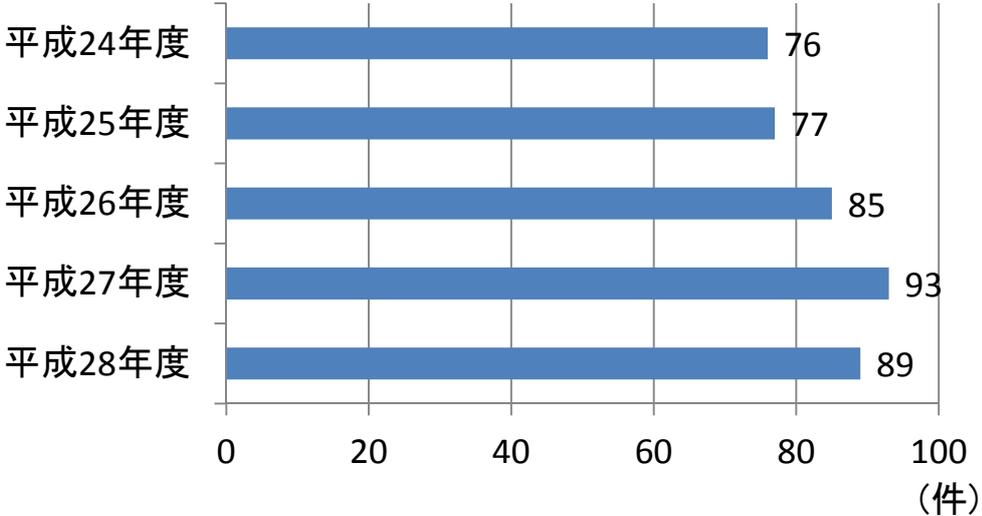




## 19 緊急帝王切開数

<b>解説</b>	<p>妊婦が自然分娩できない場合や、何らかの理由で早急に出産が必要な場合は帝王切開が必要になります。帝王切開は予定され実施する場合と、母体や新生児に何らかの事態が生じたため緊急に実施する場合があります。緊急時に帝王切開が必要になった場合、帝王切開を行うことの出来る医師、生まれてきた新生児への治療ができる小児科医師、麻酔医、看護師、手術室などの設備が必要であり、緊急時の総合的な周産期医療の提供能力を表現する指標といえます。</p>												
<b>実績</b>	 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成24年度</td><td>76</td></tr><tr><td>平成25年度</td><td>77</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>85</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>93</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>89</td></tr></tbody></table>	年度	件数	平成24年度	76	平成25年度	77	平成26年度	85	平成27年度	93	平成28年度	89
年度	件数												
平成24年度	76												
平成25年度	77												
平成26年度	85												
平成27年度	93												
平成28年度	89												
<b>定義</b>	<p>「K898 帝王切開術 1-緊急帝王切開」の算定件数と、「K898帝王切開術 2-選択帝王切開, または帝王切開術 3-前置胎盤を合併する場合または32週未満の早産の場合」且つ「予定入院以外のもの」の算定件数を合わせた件数です。分娩患者に対する割合などではなく実数として評価します。</p>												